

大湊港「みなとオアシス」に登録

2015年8月11日



▲登録証授与



▲登録記念撮影の様子



▲式典の会場の様子



▲大湊港見学「歩み」の参加者 ▲克雪ドームを背景に



8月9日（日）、青森県むつ市大平岸壁において、全国で84箇所目（県内で4箇所目）のみなとオアシス登録となる『みなとオアシスおおみなと』の登録証授与式が開催されました。

みなとオアシスは、港を核として継続的に地域振興に取り組んでいる施設や地域を認定し、国が情報発信などを行い地域活性化を支援するものです。

当日は、式典会場周辺で花火大会や大湊ネブタ祭りが開催されたことから、たくさんの市民に囲まれた中で式典が開催され、お囃子やムチュラン（むつ市ゆるキャラ）が会場の雰囲気盛り上げました。式典のオープニングセレモニーとして、大湊ネブタのお囃子が披露された後、来賓である江渡聡徳衆議院議員や山崎力参議院議員よりご祝辞をいただきました。

その後、東北地方整備局 津田副局長より、『みなとオアシスおおみなと』の代表者である宮下むつ市長へ登録証が授与され、大湊ネブタ囃子の子供達とムチュランを囲み和やかな雰囲気での記念撮影が行われました。

また、「みなとオアシスおおみなと」の登録記念として、大湊港の海上見学会を開催しました。障害福祉サービス事業所工房「歩み」の方々はじめ、むつ市民約120人が参加しました。港湾業務艇「つがる」に乗船し、海上からは、大型クルーズ船や輸出用の木材に利用する岸壁、海上自衛隊の護衛艦など見る事ができました。参加者は、「海から街を見ると景色が違って見える。しもきた克雪ドームの白い屋根が印象的だった。」と喜んでいただけました。

今回、新たに登録された『みなとオアシスおおみなと』を含む東北地域のみなとオアシスを地域の賑わい拠点として盛り上げられるよう東北地方整備局も積極的に支援していきます。

支援の一環として、検索サイト、グーグルマップへみなとオアシスの情報を掲載しています。ご覧頂き、是非、足を運んでいただけますようお願いします。